

中小製造業にIoT等の導入を支援する

スマートものづくり

指導者育成スクール

経済産業省「スマートものづくり応援隊事業」に採択されて実施する本スクールは、カイゼン活動について学ぶと同時に、IoT技術等の活用により、中小企業の生産性向上や新製品開発等を支援する手法を習得いただきます。スクール受講後は、「スマートものづくり応援隊」として中小製造業等からの派遣要請に応じて、派遣先の現場カイゼンやIoT導入支援に取り組んでいただく予定です。

回次	開催日	会場 講師	講義時間	プログラム
1	平成 30 年 8/23 (木)	大阪商工会議所 皆川健多郎氏	10:00~15:40 15:50~17:20	IEの基礎<4.5時間> 「IEの基本原則」と「改善の着眼点」を学ぶことにより、どこから改善活動に着手し、どのように改善に取り組むのか要点を説明する。 経済性評価<1.5時間> カイゼン活動は、生産革新、経営革新活動の一環であり、収益性も考慮する必要がある。カイゼン活動の経済的な評価の考え方を説明する。
2	8/31 (金)	大阪工業大学 皆川健多郎氏	10:00~17:20	模擬ライン生産演習<6時間> 座学で学んだ知識の実践力を高めるためには、その知識を活用する場での訓練が必要である。そこで、大阪工業大学ものづくりマネジメントセンターの独自の教育資源である模擬生産ラインを活用した演習を通じて、これまでの学習内容の整理をおこなうとともに、現場での実践力を向上する。
3	9/3(月)	大阪工業大学 日本生工技研 皆川健多郎氏	10:00~14:00 14:10~17:20	改善活動分析ソフトウェア活用事例・演習<3時間> カイゼン活動を効果的に進めるにあたり活用できるビデオ分析ツールといった手法の活用事例や使用方法を説明する。 模擬ラインでのソフトウェア演習<3時間> ビデオ分析ツールを実際に使って、改善活動に役立つ分析手法を習得する。
4	9/6(木) 9/7(金) ※2日かけて実施	大阪産業創造館 土井滋貴氏	9/6(木) 9:40~11:40 9/7(金) 13:00~17:10	IoT座学<2時間> インターネットを経由したクラウドサービスの利用のための要素技術について学ぶ。TCP/IPネットワーク、マイクロソフトのクラウドサービスAzureを例に解説する。 IoT演習<4時間> IoTに適したプログラム環境として注目されるNode.jsを利用して、デバイスからクラウドまでの計測システムを体験する。
5	9/26(水)	大阪商工会議所 荻本 健二 氏 川野 太 氏	13:30~16:40 16:50~18:20	IoTキットの仕組みと使い方の紹介<3時間> IoTの仕組みが分かるキットを紹介し、使用方法を実機に触れて体験する。 中小製造業向けIoTツールの紹介<1.5時間>
6	10/3(水)	実習受入企業 皆川健多郎氏	13:00~17:50	実習先工場訪問<4.5時間> 依頼内容を踏まえて、現場見学とヒアリングを実施

7	10/19(金)	大阪商工会議所 皆川健多郎氏 小林裕之氏	10:00~17:20	カイゼン提案作成<6時間>
8	10/30(火)	実習受入企業 皆川健多郎氏	14:10~17:20	プレゼンテーション<3時間> 生産現場でIoT技術等を活用してどのようなカイゼンが可能か提案する。

※90分の講義ごとに10分間休憩、昼休憩は11:30~12:30の1時間を予定。

※都合により、講義日程を変更する場合がございます。その際は事前にご連絡いたします。

講師紹介

○川野太氏（特定非営利活動法人ヒューリット経営研究所理事）

ITコーディネーター。IT・Webを積極的に活用した身の丈経営改革・業務改善について総合的な指導・支援を行っている。

○荻本健二氏（株式会社創機システムズ代表取締役）

小型ロボットの開発・製造を行うシステム会社の代表を務める。ロケットの製造・打上げで培ったシステム技術をベースに、若手のIoT技術活用を推進する「教育訓練キット」の開発を手がけている。

○小林裕之氏（大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部システムデザイン工学科教授）

2001年東京工業大学大学院博士後期課程単位修得退学、慶應義塾大学環境情報学部専任講師、東京工科大学バイオニクス学部助手、大阪工業大学工学部ロボット工学科准教授を経て現在に至る。専攻は制御工学。博士（工学）。《主な著書》『組込みユーザのためのアセンブリ/C言語読本』（共著）。

○土井滋貴氏（奈良工業高等専門学校電気工学科准教授）

大阪市立大学工学研究科前期博士課程を修了。2007年~2011年文部科学省科学技術戦略推進費「元気なら組み込みシステム技術者の養成事業」の経験あり。近年は、モバイル学会でのIoTに関する講演「IoT入門~デバイスからクラウドまで~」（2015年9月）、奈良工業高等専門学校主催IoTセミナーで「手作りIoTのすすめ」（2016年5月）などがあり、IoTの基礎教育に注力している。NPO法人M2M研究会会員。

○皆川健多郎氏（大阪工業大学工学部環境工学科教授）

1998年大阪工業大学大学院博士後期課程単位修得退学、同大学工学部経営工学科助手等を経て、現在に至る。専攻は、経済性工学、インダストリアル・エンジニアリング。博士（工学）。実績としては、経済産業省委託「平成17・18年度産学連携製造中核人材育成事業」にて模擬製造ライン開発、文部科学省委託「平成19・20・21年度社会人学び直しニーズ対応教育推進事業」、全国中小企業団体中央会補助事業「平成22年度ものづくり指導者養成支援事業」に関わるなど改善活動に関する指導経験が豊富である。《主な著書》『生産工学—ものづくりマネジメント工学—』（共著）。

定員 15名（参加申込書及び職務経歴書をもとに応募要件を満たした方から決定し、定員に達し次第締め切らせて頂きます。応募状況により、現役社員の方の募集人数を制限させて頂く場合があります。）

応募要件 中堅・大手製造業のOB人材等（製造、生産、品質管理リーダーや経営幹部）で、生産現場において実務経験があり、スクール受講後、大阪商工会議所からの協力依頼に応じて、IoT活用等によるカイゼン活動の指導を中小製造業等に対して行うことができること

或いは、中小製造業等がIoTに取り組む際に提供出来るIoT、ITツールを有する若しくは開発が可能であるIT、IoTベンダの方で、本スクールのカリキュラムの<第1回~3回>を少なくとも受講し、スクール受講後、大阪商工会議所からの協力依頼に応じて、IoT活用等によるカイゼン活動の指導を中小製造業等に対して行うことができること

参加費 企業OB:20,000円（お一人分の受講料、消費税込み）

申込方法 次項の「ご参加いただくにあたって」をご了承の上、8月20日（月）必着で下記「参加申込書」、

「職務経歴書（別紙）」を郵送でお送り下さい。（応募要件を確認の上、申込者宛てに結果をお知らせ致します。記載内容を確認するため事務局からお問い合わせする場合がございます）

ご参加
いただく
にあたって

受講は実習受入企業と相談のうえ決定致します。受入企業と同業・関連のある企業のOB或いは現役の方は、受講して頂けない場合がございます。その際は、事前にご連絡いたします。

本件担当

大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番8号

☎ 06-6944-6300 fax 06-6944-6249

✉ sangyo@osaka.cci.or.jp

大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当宛（ファックス:06-6944-6249）

スマートものづくり指導者 育成スクール参加申込書

本スクール修了後、大阪商工会議所の協力依頼に応じて、中小製造業等に対しIoT導入支援等の現場指導に可能な限り協力します。また、本スクール現場実習においては、実習先企業と秘密保持契約を結びます。

ふりがな 氏名	印	性別 男性 ・ 女性
生年月日	年 月 日（ 歳）	
現住所	（〒 - ）	
自宅電話	携帯電話	
E-mail		

※ご記入いただいた情報は、講師には参加者名簿としてお渡するほか、大商からの各種情報提供（Eメールでの事業案内含む）のために利用させていただきます。また、大商が産学官技術相談窓口で連携する大学や公設試験研究機関、行政機関の各種情報（大商後援事業含む）について、大商からご案内（Eメールによる案内を含む）する場合にも利用させていただきます。

職務経歴書

(ふりがな) 氏名		年齢		性別	
職歴	勤続年数	勤め先（企業名、所属部署、職務内容 等）			
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
	年 月 ～ 年 月				
資格					
自己PR					